

おだわら

編集発行 小田原市役所広報課 〒250 小田原市荻窪300番地



昭和62年

8月1日

人口・世帯 (7月1日現在)

人口 188,756人 (前月比+132人)

世帯 58,205世帯 (前月比+107世帯)



防災訓練でいざというときの備え

子どもたちも起震車で地震の揺れを体験(昨年の防災訓練で)

地震から身を守る 日ごろの備えは訓練から

地震は不意に 襲ってきます

八月三十日から九月五日までは「防災週間」です。大正十一年に発生した関東大震災では、本市も一瞬にして壊滅的な被害を受けました。関東大震災のような大地震が起きたとき、私たちはどれだけの対応ができるでしょうか。地震そのものは自然現象であり、防ぐ手段はありませんが、日ごろの準備と心構えで被害を最小限にすることはできます。

そこで、市では今年も九月一日の「防災の日」に合わせて神奈川県と合同で総合防災訓練を実施します。市民のみなさんも、いざという時に備えてこの訓練には是非参加してください。また、この機会に家庭でも我が家家の防災対策を見直し、十分な備えをしておきましょう。

災の日には、ほぼ七十年周期で起こるマグニチュード7級地震の震源域にもなっており、古くは寛永(一六三三年)、元禄(一七〇三年)、嘉永(一八五三年)、天明(一七八二年)と大きな地震に襲われています。そのため、本市を中心とする相模湾北西部は、直下型地震の予知を目指す科学技術庁

ではほぼ七十年周期で起こるマグニチュード7級地震の震源域にもなっており、古くは寛永(一六三三年)、元禄(一七〇三年)、嘉永(一八五三年)、天明(一七八二年)と大きな地震に襲われています。そのため、本市を中心とする相模湾北西部は、直下型地震の予知を目指す科学技術庁

みんなで参加しよう 総合防災訓練に

防災週間
8/30~9/5

総合防災訓練(9月1日)・防災行政用無線による広報の要領

放送時刻	放送事項	放送の方法
午前 7時30分	判定会招集情報及び配備体制指示 (判定会招集情報を報道解禁時に伝達) (訓練地区配備職員に体制指示を伝達)	チャイムによる一斉放送
8時50分	警戒宣言発令情報の伝達	サイレンによる緊急一斉放送
10時00分	地震発生時の情報の伝達	サイレンによる緊急一斉放送
10時03分	津波警報発令情報の伝達 (津波警報発令に伴う情報の伝達) (避難指示の伝達)	サイレンによる目的別放送 (おおむね東海道線から海側)
10時05分	火災発生情報の伝達 (火災発生を想定し、発生情報の伝達) (避難指示の伝達)	サイレンによるブロック放送 (新玉・足柄・二川地区)

